

ブドウブランド品目「紅式部」専用カラーチャートの作成			
【要約】本県で紅式部ブランドへの取り組みを進めている赤色大粒系ブドウ品種 竜宝 紅伊豆 紅富士 の品質評価基準の指標とするため、専用のカラーチャートを作成した。			
農業技術振興センター 花・果樹研究部、企画情報部		【実施期間】平成21年度	
【部会】 農産	【分野】 高品質化技術	【予算区分】 県単	【成果分類】 普及

【背景・ねらい】

県および県果樹組合連合会において、赤色大粒系ブドウ「紅式部」のブランド化を進めている。これは 竜宝 紅伊豆 紅富士 の3品種のうち、一定の基準を満たしたものを「紅式部」の登録商標名で販売するもので、認定基準は、房重、1粒重、糖度、果皮色など細かく規定している。

その中の果皮色については、「鮮紅色」と規定しているが、基準となる色見本がなく、分かりづらい。そこで、産地間での品質統一を図り、収穫適期の目安とするため専用のカラーチャートを作成する。

【成果の内容・特徴】

前年度までに収集した赤色系ブドウ（竜宝 紅伊豆）の写真画像を分析し、着色の経過を推定。それを基にカラーチャートを作成した（図1）。

作成したカラーチャートは、平成21年7月、企画情報部を通じて「紅式部」生産に取り組んでいる県内ブドウ生産組合に配布し、当年産ブドウの品質評価に試用いただいた。

【成果の活用面・留意点】

平成22年産用に正式版を配布する。

【具体的データ】

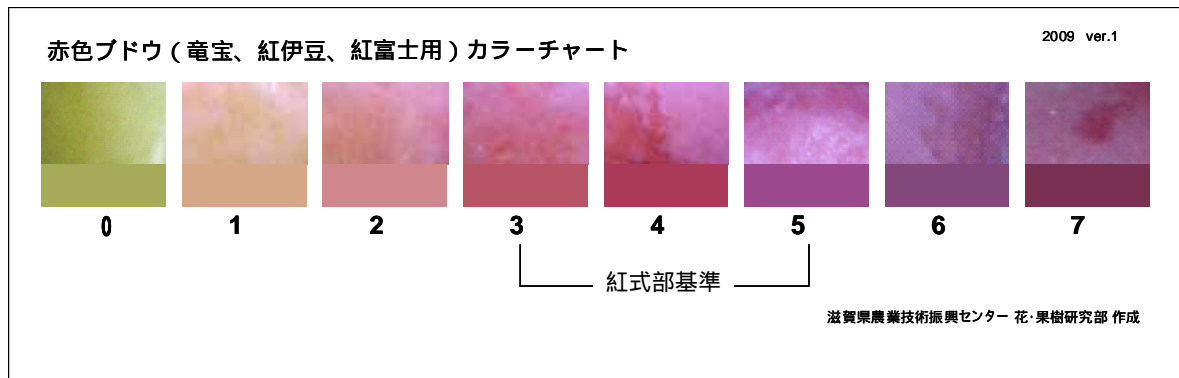


図1 作成したカラーチャート

注1) 0～7の色票はそれぞれ二段構造になっており、上段はブルーム（果粉）が付着したブドウ果皮の実写真、下段はブルームを除いた果皮の代表的な色を単色表示したものである。

注2) 画像の加工や色調調整の作業には、画像処理用ソフト ADOBE PHOTOSHOP ELEMENTS7 を用いた。

注3) 紅式部基準とする色目合い（3～5）については、企画情報部ならびに県果樹組合連合会事務局担当者と協議の上で決定した。

[その他]

・研究課題名

大課題名：消費者等の多様なニーズに応える高品質・高付加価値化技術の開発

中課題名：安全・安心・高品質な農畜産物の生産技術の開発

小課題名：果樹の高品質で安全な生産技術の確立

・研究担当者名：

徳田 寿（H21）

・その他特記事項：

平成19年度技術的要請課題（農業技術振興センター普及部）